



Vol.3

2010年2月発行

平鹿総合病院の理念



- 「より高度な臨床」
- 「より深い研究」
- 「より広い教育」
- 「より積極的な保健活動」

の四つの柱を職員が共有し、
地域の人々の生命と健康を守ります。



夜の中庭（12月下旬撮影）

CONTENTS

- 院長あいさつ……………②
- 研修医師紹介……………②
- 職場紹介……………③
 - ・ 日曜夜間小児救急外来の紹介
 - ・ 乳腺科の紹介
- 外来受付時間のご案内……………④

当院は、日本医療機能評価機構
Ver5.0の認定施設です。



病院住所／〒013-8610 横手市前郷字八ツ口3番1
TEL／0182-32-5121 (代) FAX／0182-33-3200
● HP : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>

新型インフルエンザに駆逐された今年の病院祭



院長 平山 克

今年の病院祭は新型インフルエンザの流行の為に中止（延期）となってしまいました。当院では、現在地に移転した平成19年度から、開催時期を“おこめの収穫作業が一段落する晩秋の頃”と決めて、病院祭を開催しています。

今年も、春の時期に「10月24日（土）の開催」を病院として正式に決定しており、開催に向けた委員会を組織して準備を進めておりました。ところが、夏場になって新型インフルエンザの全国的な蔓延が明らかとなり、秋から冬にかけてのさらなる大流行が危惧される状況に至りました。新型インフルエンザの予防を推進して治療の拠点となるべき病院の現場が蔓延の引き金となることは絶対にあってはならない事柄ですので、リスク回避の意味からも開催中止の決断をせざるを得ませんでした。2回の開催の経験を通して、私ども職員も準備や開催についてそれなりのノウハウを得ており、院内に“残念”の声があがりました。

この原稿を年明けに書いているのですが、経過を改めてふりかえって見ますと、周辺市町村に比べて発症が少なかった横手医療圏においても10月下旬に入って発熱患者、新型インフルエンザ罹患患者とも急増しており、小児科では人工呼吸器装着を必要とするような重症入院患者の受け入れも行われ、病院講堂の1/3をパーティションで区切って発熱外来センターとして稼働させるなど、当初予定していた10月24日の開催など『とてつもなくあり得ない』状況でありました。「泣く子と地頭には勝てない」といいますが、「泣く子も黙る新型インフルエンザ」と病院祭との勝負では、とてもではありませんが勝てるはずもありませんでした。

来年度には、今年度の分のパワーも蓄積して大々的に開催したいと考えております。

また、開催の時期に関しても、今回の状況を良いきっかけと捉えて新緑の時期の開催の可否なども検討してみたいと思っています。

研修医師紹介



柴田 昌幸 (しばた まさゆき)

北海道から平鹿総合病院へ研修に来ました。趣味は読書、ドライブ、ボクシング（バンタム級・アマチュア）です。独身です。よろしくお願いします。



進藤 智彦 (しんどう ともひこ)

はじめまして、新人研修医の進藤智彦です。宮城県仙台の出身です。横手市に赴任して9カ月となりましたが、ようやくこちらでの生活にも慣れ自分らしさを発揮できているかなと実感する今日この頃です。まだまだ経験も少なく、至らない部分も数多くあるかとは思いますが今後ともどうぞよろしくお願いします。



菊地 祐太郎 (きくち ゆうたろう)

はじめまして、研修医1年目の菊地祐太郎と申します。出身は神奈川県なので、こちらの雪の多さには驚いてばかりです。研修ももうすぐ1年になろうとしていますが、日々精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



伊東 健太郎 (いとう けんたろう)

昨年4月からお世話になっている伊東健太郎です。出身は秋田県由利本荘市です。浪人、大学と仙台で過ごしていたため徐々に秋田に帰ってきました。日々勉強の毎日ですが、少しでも地元秋田の医療に貢献できるよう努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



奥田 崇雄 (おくだ たかお)

はじめまして、奥田と申します。音楽が趣味で聴くのも演奏するのも大好きです。得意な楽器はドラムスで学生の頃からやっていました。特に、ジャズ、フュージョン、ラテン系のリズムが得意です。音楽仲間がほしいのですが、よろしくお願いします。



石田 智之 (いしだ ともゆき)

平成21年3月東北大学医学部卒業の石田智之です。よろしくお願いいたします。



西澤 弘成 (にしざわ ひろなり)

初めまして。一年目研修医の西澤弘成です。長野出身で、趣味としては昔習っていた茶の湯をたしなんでいます。9ヶ月経ち、だんだん仕事にも慣れてきた気がします。どうぞ、今後ともよろしくお願いします。



富岡 恵 (とみおか めぐみ)

南国香川から遠く秋田まで、雪に埋もれに来た富岡です。横手の雪は南のものとは比べて量の割に空気が多い気がします。(食べた感じでは…) ともかくも研修は2年目に突入ですが、学ぶことはまだまだ無限なので頑張っていきたいと思っております。



進藤 俊 (しんどう しゅん)

平素よりお世話になっております。当院初期研修医一年目の進藤俊と申します。日々摘み取らなければならないタスクの山に追われ、毎日が横手の雪かきのような感じです。これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

■ 職場紹介

日曜夜間小児救急外来について

小児科 診療部長 伊藤 忠彦

日曜夜間小児救急外来は平成18年11月、小児科勤務医の負担軽減、時間外の小児救急の充実を目的に開始されました。当時の県南地域の小児科勤務医は極端に不足しており、疲弊状態となった私たち勤務医を助けようと地域の開業医の先生達が立ち上がりました。横手市医師会の小児科開業医3名（石橋貢先生、岡田信親先生、無江昭子先生）が交代で平鹿総合病院救急センターにて、日曜日準夜帯（18時から21時）に診療を行っています。開業医が一次救急、勤務医が二次救急と連携し一体となった小児救急医療を展開しております。昨年の新型インフルエンザの流行は小児が中心でしたが、特に11月、12月は1日に30人前後が利用しましたが、休日の救急センターは発熱の小児患者さんでいっぱいになり、過去に例を見ない大流行でしたが、勤務医と開業医が協力し大きな混乱無く乗り切ることができました。

日曜夜間小児救急外来を受診する小児の年齢は75%が0歳～4歳であり急変しやすい乳幼児が主体です。し

たがって、保護者からは診察医が常に小児科医であることに安心感があるとの声が多く寄せられています。

平成19年と20年との利用者数の比較では年間492人から600人と増加傾向を示していて、患者さんの地域別では横手市が約80%、湯沢市が10%ですが、大仙仙北地域が4%から9%と倍増し利用者の広域化も見られます。具体的な効果として、小児科勤務医の負担軽減に加え、地域での小児救急への安心感増大、一次救急から二次救急へのスムーズな移行、救急センターの全科当直医の負担軽減、そしてなにより開業医と勤務医の連帯感の高まりがあげられます。

これからも開業医と勤務医が協力して地域の小児医療が益々充実することが期待されます。



横手市医師会員 岡田医師

乳腺科について

乳腺科 科長 島田 友幸

乳がんは、日本人女性において、罹患率第1位のがんです。従来、乳腺（乳がん）の診療は「外科」が担当してきました。しかしながら、現在の乳がん診療は、診断治療ともに数年前とは大きく異なり、より高度な専門性が要求されています。また、乳がん検診の普及とともに、より高いレベルでの精密検査が必要となっています。このため、平鹿総合病院では、乳がん診療を従来の「外科」から切り離し、「乳腺科」として乳腺専門医による独立した診療を行っています。

乳腺科では、乳がんの精密検査、治療（手術、放射線療法、薬物療法）、治療後の経過観察を担当しています。平成21年に施行した検査数は、マンモグラフィ6733件（診療2502、検診3728、人間ドック503）、乳房超音波1950件でした。手術では、乳房温存手術、センチネルリンパ節生検など、可能な限り負担の少ない方法をお勧めしています。薬物療法では、術前化学療法を積極的に導入するなど、平成21年に737件の外来化

学療法を行いました。

現在、月、火、金の週3回、8時30分より19時頃まで完全予約制での外来を行っています。受診を希望される患者さんが非常に多く、予約日まで大変長くお待ちすることになってしまっています。自覚症状のある方、検診で精密検査が必要となった方に対する精密検査、乳がんと診断された患者さんの治療をできるだけ速やかに行うためにも、**自覚症状のない検診目的の方はできる限り**

一般の乳がん検診を受けていただくようお願いいたします。



超音波装置による精密検査

診察受付時間のご案内 (平成22年2月1日現在)

ブロック	診療科	受付曜日	受付時間		特 殊 外 来
			午 前	午 後	
1 階 Aブロック	第一内科	月～金	午前11時まで		
		第1・3・5土曜日	午前10時まで		
	外 科	月～金	午前11時まで		◎小児外科(毎週水曜日午前)…診察はBブロックへ移動 ◎ストーマ外来(毎週火・木曜日14:00～16:00)※完全予約
		第1・3・5土曜日	午前10時まで		
	整形外科	月・火・水・金	午前11時まで		
		木	午前10時まで		
心療センター	第1・3・5土曜日	午前10時まで			
	火・水・木	午前11時まで		◎火曜日は再来のみ 水曜日・木曜日の新患は予約が必要	
		第1・3・5土曜日	予約外来		
	1 階 Bブロック	第二内科	月～金	午前11時まで	
第1・3・5土曜日			午前10時まで		
脳神経外科		月～金	午前11時まで		
心臓血管外科		第1・3・5土曜日	午前10時まで		
2 階 Cブロック	皮膚科	火・金	午前11時まで		
	小児科	月・水	午前10時30分まで		◎予防接種・慢性疾患(毎週火曜日13:00～15:00) ◎乳児健診(毎週木曜日13:00～15:00) ◎心臓外来(第1・3・5金曜日)※完全予約 ◎神経外来(第4水曜日)※完全予約 ◎内分泌外来(第2・4金曜日)※完全予約 ◎腎臓外来(第1金曜日)※完全予約 ◎血液外来(第4金曜日)※完全予約 ※特殊外来受診希望の場合は必ず小児科外来にご連絡ください。
		月～金	午前11時まで		
	産婦人科	第1・3・5土曜日	午前10時まで		
		月～金	午前11時まで		◎母乳外来(毎週月・木曜日13:30～15:30) ◎母親学級(毎週火曜日13:30～14:30)
	形成外科	第1・3・5土曜日	午前10時まで		◎顎顔面・唇顎口蓋裂外来(第1土曜日) ※平日の診療は午後1時30分からです。
月～金		午後3時30分まで			
2 階 Dブロック	耳鼻咽喉科	月～木	午前11時まで	木曜学童午後3時30分まで	
		金曜日 (第1・3・5土曜日 の前日)	休 診	休 診	
		金曜日 (第2・4土曜日 の前日)	休 診	午後1時30分～ 午後3時	
		第1・3・5土曜日	※原則予約・新患・吸入の方		
	眼 科	月・木・金	午前10時まで		
		火	午前9時まで		
		水	予約のみ		
		第1・3・5土曜日	午前10時まで		
	眼 科	月	午前10時まで		
		火・木・金	午前11時まで		
水		午前9時まで			
泌尿器科	第1・3・5土曜日	午前10時まで			
	月～金	午前11時まで		◎ストーマ外来 火・木曜日 10:00～11:30 ※完全予約	
歯 科	月～金	午前11時まで		木曜日を除いて 予約で午後3時まで	
	第1・3・5土曜日	午前10時まで			

※再来は午前6時30分から自動再来受付機で受付を開始します。
 ※新患は午前8時から受付を開始します。
 ※土曜日は全科午前10時まで(心臓血管外科・皮膚科は除く)
 (ただし、第2・4土曜日は休診)
 ※急患の場合は、受付時間以外にも24時間受付しております。

患者さんをやる気にさせる「糖尿病教室」をめざして

患者さんの多くは症状がないものですから、悪化して何らかの症状が出るまで解りづらいために、治療やケアを始められない人が少なくありません。
 また、仕事などの理由で糖尿病を悪化させてしまうような生活を続けざるを得ない人もいます。そのために「糖尿病教室」は、自分の糖尿病を知ってもらい関心を持ってもらうこと、意欲を引き出す場として活動することを目的にしています。当院は年3回を予定しており、いずれも食事をしながら栄養のお話をし、知識を深めてもらいます。今年度の参加は、1回目33人、2回目33人、3回目45人でした。楽しく食事をする中で、本音で話し合いをしていただき、次回も参加したくなるような雰囲気になるよう心がけています。

保健師 石成誠子

肺の日 開催のお知らせ

開催日時／平成22年8月1日(日)13:30～
 場 所／横手市ふれあいセンター 『かまくら館』
 主 催／日本呼吸器学会東北支部会

お問合せ先：保健福祉活動室 ☎0182-33-0630

編集後記

平成21年10月に引き続き第3号をお届け致します。
 4月下旬に発生した新型インフルエンザは、当地区では18歳未満の子供を中心に10月中旬より流行が始まり11月下旬にピークを迎えました。休日ごとに盆暮正月を越える100～200人の救急患者さんが当院の救急センターを訪れ大混雑、小児科には累計100人強の入院がありました。幸い現在はピークの10%にまで減少しております。しかしながら、沖縄では流行の第2波が報告されており、まだまだ安心はできません。ワクチン接種は1月27日より年齢や基礎疾患の制限が解除され、どなたでも予約なしに受けることができるようになりましたので、お気軽に各外来にお申し出下さい。(広報委員 木村)